



インラインホッケー

生活に 彩りを添える

サークル活動

雪解けとともに、もうすぐ春が訪れます。この季節に、何が新しいことを始めてみたいと思っている方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、区内の施設を拠点に活動しているサークルを紹介します。皆さんも、サークル活動を通じて、新たな自分を見つけてみませんか？

手軽さとスピード感が魅力

インラインホッケーサークル

縦一列に車輪が付いたブーツを履き、パックをスティックで巧みに操りながらゴールを目指すインラインホッケー。Let's豊平(豊平勤労青少年ホーム)を拠点に、このスポーツを楽しんでいるのが、「インラインホッケーサークル」です。

「女性も気軽に楽しめるといふ話を友人から聞き、興味本位で始めました。今は、試合をするのがすごく楽しいです」と話すのは、代表の島山絵里さんです。インラインホッケーは、アイスホッケーのような激しいぶつかり合いが禁止されているので、用具と場所さえあれば、老若男女を問わず楽しむことができます。現在のメンバーは、女性九人を含む十九人で、二十代が中心

です。週に一度の練習では、スケイティングやパス練習などを行ってから、三対三や五対五分かれ、男女混合で試合をしています。

「アイスホッケーに比べルールが簡単で、スピードディーな試合展開がたまらない」と、メンバーが口をそろえるように、皆、すっかりインラインホッケーの虜とらになっていく様子。難しいスポーツと思われがちですが、Let's豊平では、用具を貸し出しているの、初心者でも気軽に参加してほしいとのこと。島山さんは、「このスポーツはまだあまり知られていないので、楽しさを多くの人に伝えて、仲間を増やしていきたいですね」と、笑顔で話してくれました。

キラリと光る技が決めれば大スター

マジック同好会アクティブ

「マジック同好会アクティブ」は、豊平区民センターで開かれた講座をきっかけとして、四年前に誕生したサークルです。

「サークル名はメンバーの発

案で、何事も活動的にといい意味合いが込められています」と話すのは、代表の木島正明さんです。現在のメンバーは十八人で、平均年齢は六十歳を上回ります。